

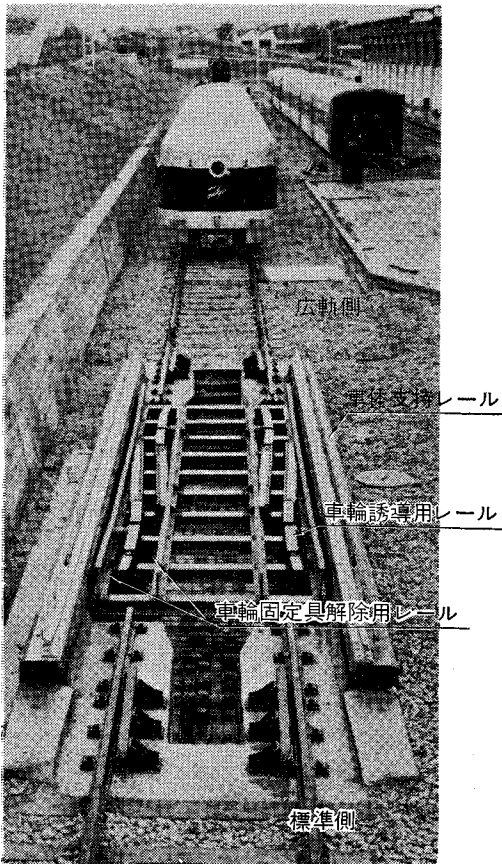
タルゴの採用した異軌間用客車

The Railway Gazette, Vol. 125, No. 4
pp. 136~138, 142, February 21 (1969)

スペイン(軌間 1 668 mm)とフランス(軌間 1 435 mm)間の直通列車の運行に 6 月から車輪の間隔を変えられる客車を採用することになった。機関車の車輪の間隔は変えられないため、機関車は両国内で別々のものを使用するが、最高 170 km までの安定性とブレーキ試験を行っている。

車輪間隔を変える方法は、写真のような変更のための設備をつくり、客車の方も図のように車輪を左右別々の短い車軸に付けるなど特別につくり、図のような順序で行なっている。列車は 図-1 の状態で走っているが、変更点で車軸のところにつけた支持具がレールの脇にある支持レールに乗り、図-2 の状態になる。すぐに別のガイドが作用して、車輪の固定具がはずれ、図-3 の状態になり、車輪は横に移動できるようになる。列車は変更点を 15 km/h で通過するが、進むにしたいが、車輪

変更用設備



は誘導用のレールが側面を押すようになるため、横に移動して、変更したい位置にくる(図-4)、それがすむと車輪の固定具がガイドをはなれて、図-5 の状態になり車輪は固定される、次に車体も支持レールから離れ、車輪がレール上におり運行可能になる(図-6)。

